

(学年)第3学年、(教科・科目)HR活動・人権教育

一斉学習

(単元)公正な採用選考について考える

(本時のねらい)

就職差別を一人一人に保障されている基本的人権が侵害されている重大な問題として認識させ、差別を見抜き、差別を許さない態度と、差別解消への実践力を育てる。

(ICT活用法)

「社用紙」と「全国高等学校統一用紙」を比較する。その違いについて、一人一台端末を用い、各グループで授業支援クラウドアプリに記入する。その後電子黒板に投影し、各グループで考えたことを共有させる。本人の能力や適性に関係ない項目は削除されていることに気付かせる。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の流れを説明する。 	
	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">公正な採用選考について考えよう。(就職差別について考えよう)</div>		
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ・「社用紙」と「全国高等学校統一用紙」を比較する。違いについて、一人一台端末を用い、各グループで授業支援クラウドアプリに記入する。 ・企業に自分がアピールしたいところを考えて発表する。 ・「14項目」を含めた面接のロールプレイを行う。 ・ロールプレイを観察しながら、不適切な質問とその理由を考え、発表する。 ・応答を拒否するときの答え方を確認し、理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の能力や適性に関係のない項目は「統一用紙」から削除されていることに気付かせる。電子黒板に投影し、各グループで考えたことを共有させる。 ・ワークシートにそれぞれの考えをまとめさせ、共有する。 ・ロールプレイをすることで、実際に面接を受ける立場に立たせ、質問内容から差別に該当する所を見抜かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループで授業支援クラウドアプリに記入する。 ・電子黒板に各グループのワークシートについて投影する。

まとめ 5分	・本時のまとめをする。	・就職差別が、身近な問題であることに気付かせ、昔と今の人権意識の違いを認識させるとともに、現在は、本人の能力や適性以外、本人に責任のない事柄は選考基準にならないことを再確認させる。
-----------	-------------	--

(授業の様子)



(生徒の反応と課題、改善を要する点)

今後生徒が直面するであろう大きな人権問題として、就職差別、結婚差別が挙げられる。これまでの人権教育により、様々な差別問題の解消はある程度進んでいるものの、未だに多くのものが根強く残っている。特に就職差別に関しては部落差別のみならず、女性差別、障がい者差別など、多岐に渡るケースがある。本クラスは、進学を希望している生徒が多いものの就職を希望している生徒もおり、進学希望先や就職希望先も多種多様である。また、穏やかな性格の生徒が多いが、中には人権感覚に乏しく、軽薄な発言により周りの者を傷つけたり、不愉快な思いをさせたりすることが少なくない。

以上の状況を踏まえ、就職試験を受ける生徒には、就職差別を見逃さない知識や態度を身につけさせるとともに、いずれ就職することになるであろう進学する生徒にも、「就職差別につながるとされる14項目」を学習させることで、差別を見逃さない態度や人権を尊重する社会の実現のための知識や実践力を身に付けさせたい。